

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL <http://www.jaichi.jp> TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2014. 10. 10 No.1101

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

子どもたちによりよい 保育を!11.3大集会

とき 11月3日(月)12:00～
ところ 日比谷野外音楽堂



↑ 古賀奈緒美さん(左)と笠松智子さん

ごま、大豆などアレルギー食品の除去を示すカードを載せた個別用意の給食トレイ

安全・安心の給食をつくりたい 現業の仕事は経験があつてこそ

名古屋市職労
福祉支部
保育園部会

自治労連は全ての労働者の賃金底上げと雇用の安定、国民生活を支える公務公共の拡充に向け、10月15日に全国統一行動・現業統一行動を配置。愛知でも秋季年末闘争の中、統一行動に向けて各単組で準備がすすんでいきます。名古屋市職労では、当局の現業職員の不採用方針の提案に対し、市民のいのちとくらしに対して「責任」を持った仕事ができなくなるという声が上がっています。住民と直接触れあう現業の仕事に「子どもの食、そして命に関わる大切な仕事」と誇りを持って働く、保育園給食の調理員さんを取材しました。

責任ある仕事は 公務だからこそ

名古屋市では休日保育実施に際して、その調理を民間委託にする提案が出されたことがあります。これに対して市の保育園給食調理員全員が「民間委託は認められない。子どもたちに責任を持って安全・安心の食事を提供したい」と反対。全調理員で休日保育の調理を交代で行い、委託化を阻止しました。また、食に関する知識と正しい食習慣を身につける「食育」も行っています。

安全・安心の 給食を提供

「子どもたちに安全・安心の食事を提供すること。それがわたしたち保育園給食調理員の仕事です」と声を揃えるのは、名古屋市職労福祉支部保育園部会の執行委員、古賀奈緒美さん(猪高保育園)と笠松智子さん(水草保育園)。二人とも名古屋市の保育園給食を支え続けてきた、ベテラン職員です。古賀さんの一日は、子ど

命に関わる 大切な仕事

それだけに今回の提案に対して「許せない!何考えてるの」と2人も怒り心頭。「わたしたちの仕事は流れ作業ではありません。徹底した衛生管理はもちろん、アレルギー除去食、その日の体調に合わせてやわらかいご飯もつくります。命に関わる大切な仕事、責任を持って働いています」と、子どもたち一人ひとりに合わせた食事を提供する、その高い専門性を訴えます。今回、10月5日～6日に

かけて強い影響を及ぼし



名古屋市職労福祉支部の集会の様子

統一行動で 意思を示そう

名古屋ブロック(名古屋市職労、名水労、名市病、港職労、学事労、なごや介護)では10月15日の統一行動では本庁舎前集会を予定。また豊橋市職労や蒲郡市職、瀬戸市職労、春日井市職労でも退庁決起集会が予定されています。市民の生活に責任を持つて仕事をすすめるためには、経験の蓄積と継承が必要で、そのために継続した新規採用確保をはじめ、安心して働き続けられる労働条件などの諸要求実現に向けたとりくみは重要です。

自治労連全国統一行動・現業統一行動 県内決起集会予定

県内で、「くらし・仕事・地域を守れ!」と声を上げる統一行動です。秋闘に向けて、職場で、地域でとりくみ始めましょう。要求実現をめざして全ての単組・職場で集会、宣伝行動、勉強会など組合員参加でとりくみましょう

瀬戸市職労

とき 10月15日18時～
ところ 本庁

春日井市職労

とき 10月14日18時～
ところ 本庁ロビー

名古屋ブロック

とき 10月15日18時～
ところ 名古屋市役所本庁舎前

豊橋市職労

とき 10月15日18時～
ところ 東館1F

蒲郡市職

とき 10月15日17時～
ところ 旭公園(予定)

悪政阻止 公務公共サービス拡充 国民諸要求実現

11・5 全県労働者決起集会

とき 11月5日18:30～ ところ 名古屋市・若宮広場



いかそう憲法つくろう 安全・安心の地域、日本を

第12回
地方自治研究
全国集会 in 滋賀

9月27日～28日、滋賀県で第12回地方自治研集会在開催され、27の分科会に分かれ討論。集会には、「憲法をくらし・地域にいかそう」と、のべ2000人が参加し、自治労連愛知県本部からも74人が参加しました。

初日、滋賀の伝統芸能「日野曳山祭ばやし」の演奏で始まった集会では、日本人初の宇宙飛行士で、しいたけ農家を営む秋山豊寛氏が「宇宙から考える地域と日本」と題して講演。「美しい地球を守るためにも、地域の主権が守られることが大事。道州制の導入で地域の決定権が奪われようとしている。これに対抗するため、地方からおかしい」と声を上げよう」と訴えました。



おきプロNEXTの経験を共有

2日目の「防災と安全・安心のまちづくり」分科会では、広島市の土砂災害で避難した住民に「少しでも元気になって欲しい」と温かい給食を提供した給食調理員からの報告が行われ、地域に根ざす自治体職員のとりのくみななどが交流されました。

全国の仲間と交流し “つながり”を実感

初日の全体会終了後、「おきプロNEXT」をスタートに、このつながりを広げよう」と呼びかけた自治労連主催の青年企画「沖縄から滋賀へー大きな輪でつなげよう！職場・青年・地域」が開催され、126人が参加しました。現地で学んだ「戦争の悲惨さ」や「自治体職員の方」

愛知から参加した名水の平原睦さんは「組合のとりのくみが分かり、青年の仲間がいることを実感できる、こうした企画に参加することが大事」と感想を語ってくれました。

言いたい劇場 小菅りや子



安くて安心
セット共済
掛金 1820円/月 → 病气入院 5000円/1日
自治労連

紙面作りのノウハウを学ぶ

第19回あいち機関紙・宣伝学校

愛労連と自治労連愛知県本部の共催で10月4日～5日、第19回あいち機関紙・宣伝学校が金山・労働会館を中心に開催され、71人が参加しました。

初日、女性向け雑誌「ケリー」を発行する株式会社ゲインの山本寿彦・出版事業部部長が「雑誌がブームを作ってきた！？」と題して記念講演。手に取って、中を読んでもらうために「ネットで検索して出てくるようなただの情報ではなく、感情の動きが表れる記事。被写体の香りが匂い立つような写真。そういうものを届けたい、という気持ちを大切に、「特徴」ある雑誌づくりを

二日目は4講座に分かれ、記事の書き方や写真の撮り方など、実践的な技術を学習。講座④「見せせりパソコンコース」では、PC上で、白紙の状態から題字・見出し・写真・本文をくみ上げ、新聞形式の会報をつくりました。

参加者からは「基礎的なノウハウから学ぶことができ、良かった」「興味を持って読んでもらえるよう、色々工夫して紙面づくりをしていきたい」と感想が寄せられています。



人気雑誌の作り手に学びました



「戦争は絶対にダメ!!」と訴えデモ行進

9月23日、「集团的自衛権と秘密保護法に反対する大集会」が、名古屋市・若宮広場で開催され、1500人が参加。集会では参加者の思いを叫ぶ「10秒シャウト」が行われ、子ども連れの母親が口々に「戦争はイヤだ!」「息子を絶対に戦争に送らないぞ」と訴えると大きな拍手が起こりました。集会後は「戦争反対。平和が大事」と休日までにぎわう栄をシュプレヒコールしました。

戦争はイヤ！平和が大事

9月28日、第18回小牧平和県民集会在小牧市の市之久田公園で開催されました。集会には、航空自衛隊小牧基地の機能強化に反対しようと400人が参加。決意表明で「私たちの力で戦争する国・人づくりにストップをかけましょう」と呼びかけられると大きな拍手が起こりました。集会後、小牧基地まで「平和な日本をきずこう」とデモ行進しました。

平和な日本をきずこう!



朝晩が涼しくなり、自転車で走る者としては大変うれしいです。

- 単組定期大会 役員紹介**
- 西尾市職(9月27日)
 - 執行委員長 犬塚 隆之
 - 副執行委員長 柵木 史紀
 - 書記 長 市川京之助
 - 書記 長 鈴木裕一郎
 - 書記 長 松崎 真幸
 - 書記 次長 鈴木 貴夫
 - 武豊町職(9月29日)
 - 執行委員長 小泉 勇志
 - 副執行委員長 白井 俊
 - 書記 次長 松本信太郎
 - 書記 長 中村やよい
 - 副執行委員長 中野みさ子
 - 書記 長 細田由起子
 - 書記 次長 柴田 大和
 - 書記 長 若林 眞二



仲間の声